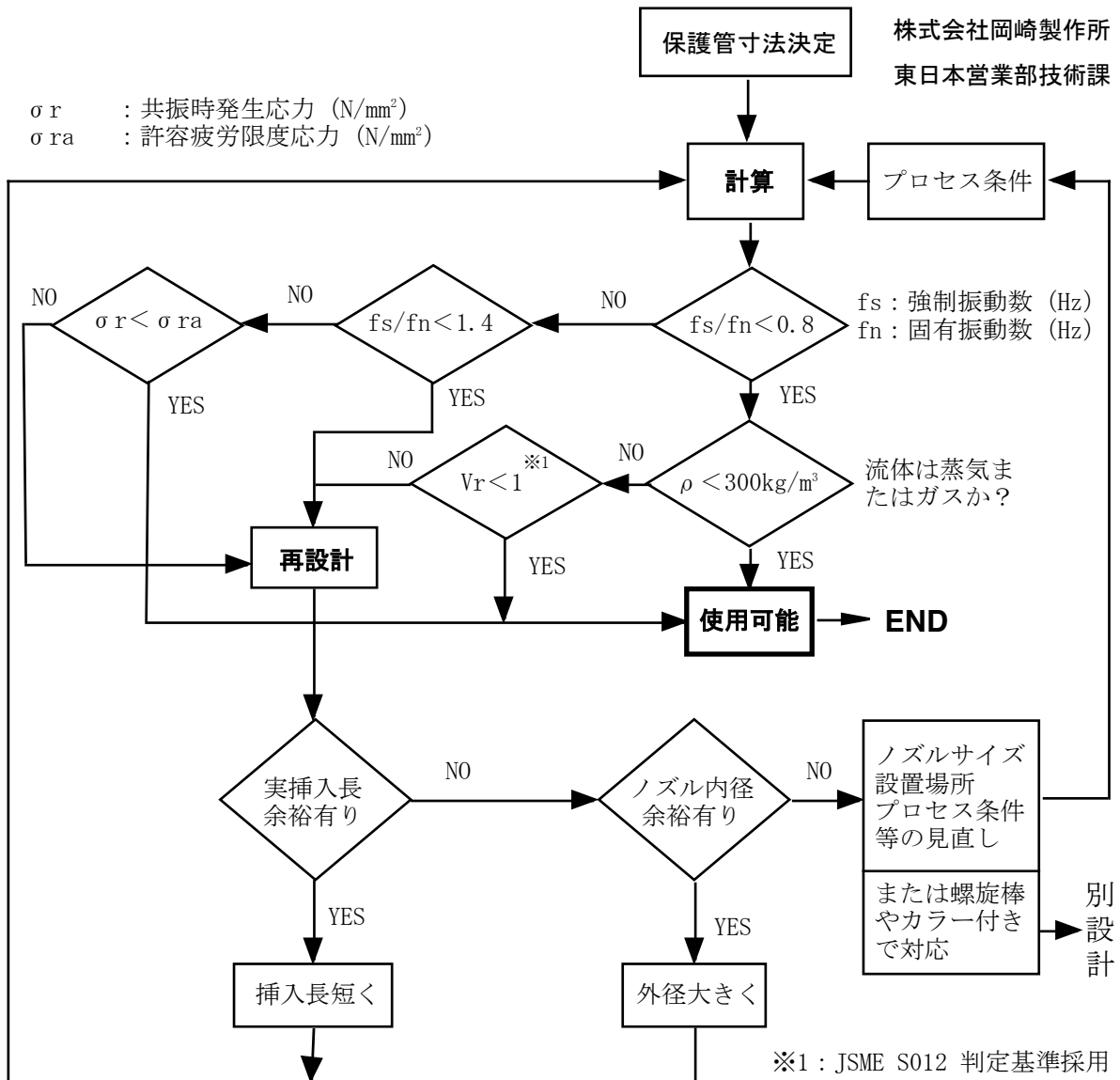
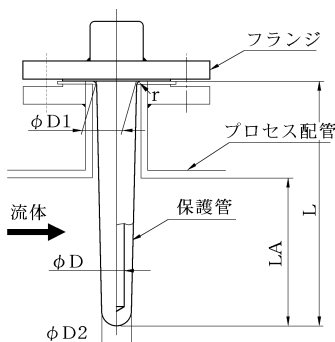


$\sigma_r$  : 共振時発生応力 (N/mm<sup>2</sup>)  
 $\sigma_{ra}$  : 許容疲労限度応力 (N/mm<sup>2</sup>)



備考

- 共振する恐れのある振動比を  $[0.8 < f_s/f_n < 1.4]$  としています。
- 共振時に生ずる応力が疲労限度応力以下の場合、使用可能としています。
- 実挿入長  $L_A$  = 挿入長  $L$  - ノズル高さ で受ける荷重を評価。(下図参照)
- ノズル内径は、保護管を取り付けるために設けられた短管のサイズおよびレーティングにより下記寸法となります。このサイズ以下の保護管外径を選定します。
- 流体が液体の場合は JSME S012 (ASME N1300) 指針を採用した計算を実施。



呼び径		Sch40	Sch80	Sch160
3/4B	20A	21.4	19.4	16.2
1B	25A	27.2	25	21.2
1-1/2B	40A	41.2	38.4	34.4